

社会福祉法人 長幼会  
平成29年度 事業報告書

## 目 次

1	はじめに .....	1
2	法人運営の持続的発展に向けた取り組み .....	1
3	法人本部機能の強化 .....	3
4	事業ならびにその運営状況 .....	4
5	理事・監事・評議員 .....	5
6	理事会の開催状況 .....	5
7	評議員会の開催状況 .....	6
8	各種委員会 .....	7
9	保育所の運営方針、保育目標 .....	8
10	すくすく保育園事業報告 .....	9
11	千丸台保育園事業報告 .....	16
12	横浜みなとみらい保育園事業報告 .....	21
13	玉川保育園事業報告 .....	28
14	新井小学校放課後キッズクラブ事業報告 .....	33

## はじめに

社会福祉法人長幼会は、平成 12 年 10 月 6 日の設立以降、横浜市都筑区大圃町に「すくすく保育園」を開園後、現在では横浜市内に 3 園、川崎市内に 1 園の認可保育園を有し、放課後キッズクラブの事業運営までに事業が広がりつつあります。また、法人に勤務する職員数も 190 名を超える規模となり、長幼会が果たすべき社会的責任と役割は益々大きなものになってきたと言わざるを得ません。

平成 29 年度は、平成 28 年 3 月 31 日に成立し同日交付、同年 4 月 1 日より施行された改正社会福祉法の趣旨でもある 1) 経営組織のガバナンスの強化としての理事・理事長に対する牽制機能の発揮、財務会計に係るチェック体制の整備、2) 事業運営の透明性の向上に向けた財務諸表の公表等についての取り組み、3) 財務規律の強化、4) 地域における公益的な取り組みを実施する責務など、これらの改革を前向きに捉え、長幼会としてのこれまでの法人運営を見直し、持続的発展を可能とする礎の年度として、各課題に取り組んできました。

## I 法人運営の持続的発展に向けた取り組み

### 【経営組織のガバナンスの強化】

1. 評議員会が議決機関になったことに伴い、理事会が業務執行に関する意思決定機関に位置付けられたことから、相互の牽制機能が働く機関として、法人の業務執行と決定機関としての位置付けのなかで理事会、評議員会を開催してきました。
2. 法人本部の機能強化に向け、リソースの有効活用に向けた検討を進めてきました。

### 【事業運営の透明性の向上に向けた取り組み】

1. 閲覧対象書類の拡大に伴う法人各事業の情報発信の在り方について整理・検討を進める。
  - ・事業報告、事業計画、財務諸表、現況報告書、役員報酬基準の公表に係る規程の整備等を進めてきました。
  - ・ホームページの活用による情報公開として、情報公開に資する資料についてホームページ上での公開を実施しました。
  - ・広報誌の活用等について、法人及び各園のパンフレットの見直しを進め、保護者説明会や専門学校訪問時の資料として活用を始めました。
2. 第三者評価の定期的受審
  - ・第三者評価の定期的受審に向けて、各園の自己評価を進めてきました。自己評価については、園評価と職員評価の両面から行っています。

### 【財務規律・基盤の強化】

1. 社会福祉法人会計基準に基づく会計手法の構築と関係諸規程の整備と運用
  - ・経理規程の整備として、適正かつ公正な支出管理の確保、会計処理手法について会計基準に基づく処理を行うとともに、税理士法人アイパートナーズと委託契約を行い、事業全体の月次監査における確認を行ってきました。
  - ・役員報酬基準を作成しホームページ上での公開を実施しました。

### 【地域における公益的な取り組みの推進】

1. 地域における公益的な取組を実施する責務とは、改正社会福祉法第 24 条②の規定で「社会福祉充実残額」のない法人にも求められます。ここで定義されている事業とは、
  - ・社会福祉事業又は公益事業を行うに当たって提供される福祉サービスであること

- ・日常生活または社会生活上の支援を必要とするものに対する福祉サービスであること
  - ・無料または低額な料金で提供されること
- 等、のすべての要件を満たす必要があり、改めて法人の現在の取り組みを振り返ることからの検討を進めてきましたが、社会福祉充実計画を策定するまでには至りませんでした。今後も引き続き継続して検討していくこととします。

### 【新たな事業の開拓に向けた調査と検討】

- ・行政市が公募する民間事業者活用型保育所整備法人への選定に向けて取り組みを進めてきましたが、今年度においては該当する事案は在りませんでした。
- ・地域型保育事業における連携施設として、川崎市平間にある家庭的保育室やまんちとの園医による健診や給食の提供等を玉川保育園が引き続き行ってきました。

### 【職員の資質の向上・定着に向けた取り組み】

法人の理念や目的を遂行し、事業を順調に運営していけるか否かの鍵は、法人で働く職員（保育士）個々の資質にあることを基本に、人材育成の観点から職員個々の資質の向上、モチベーションの維持・向上に向けた人事労務管理の手法を構築する。

#### 1. 処遇制度の見直し

(1)年2回の個人面接時に人事考課表に基づく目標の確認を職員・上司双方で行い、半期ごとに達成度について確認を行うことにより処遇に反映する。その基本となる人事考課表、面接の手法について検討を進める。

- ・人事考課表の見直し
- ・面接のあり方と反映についての見直し
- ・異動、配置転換等、人的資源の適正配置に向けた仕組みの検討
- ・諸労働条件について、既諸規程の見直し

上記課題について、企画準備会・企画運営会議・四園園長会で合理的、納得性のある仕組みについて検討を進めてきましたが、結論を得るまでには至りませんでした。引き続き検討をしていきます。

(2)職員の定着に向け、より納得性の高い人事考課制度を構築し、やりがい、働きがいのある法人を目指す。当面、キャリアパス制度の導入に向けた検討を進める。

- ・キャリアパス制度の導入と職務・賃金処遇の在り方について検討

保育士等処遇改善加算Ⅰ・Ⅱに向けた対応を検討してきましたが、キャリアパス受講が必須であることから必ずしも希望通りに受講できるわけでないこと、経験年数や職種間での非該当職種があることなど、職員間での不公平感を募らせることの可能性も危惧され、加算Ⅱについては申請を見送ることとしました。

#### (3)福利厚生制度の充実

- ・職員の将来設計に向けた、人事処遇制度の検討を進めてきましたが、結論を得るまで至っていません。引き続き検討していきます。
- ・総合福祉団体定期保険・医療保障保険・退職金制度の導入に向けた検討を進め、総合福祉団体定期保険・医療保障保険（メットライフ生命）に加入しました。なお、当該年度中に3名の職員が保険適用となり、職員の医療費負担軽減に寄与しました。
- ・余暇の有効活用に資する施設との法人契約の推進として、ナビオス横浜との施設利用等について検討をしてきました。

#### (4)職員採用に向けた取り組み

保育の担い手である職員の確保は喫緊の課題であり、都度の採用はもとより定期的な採用計

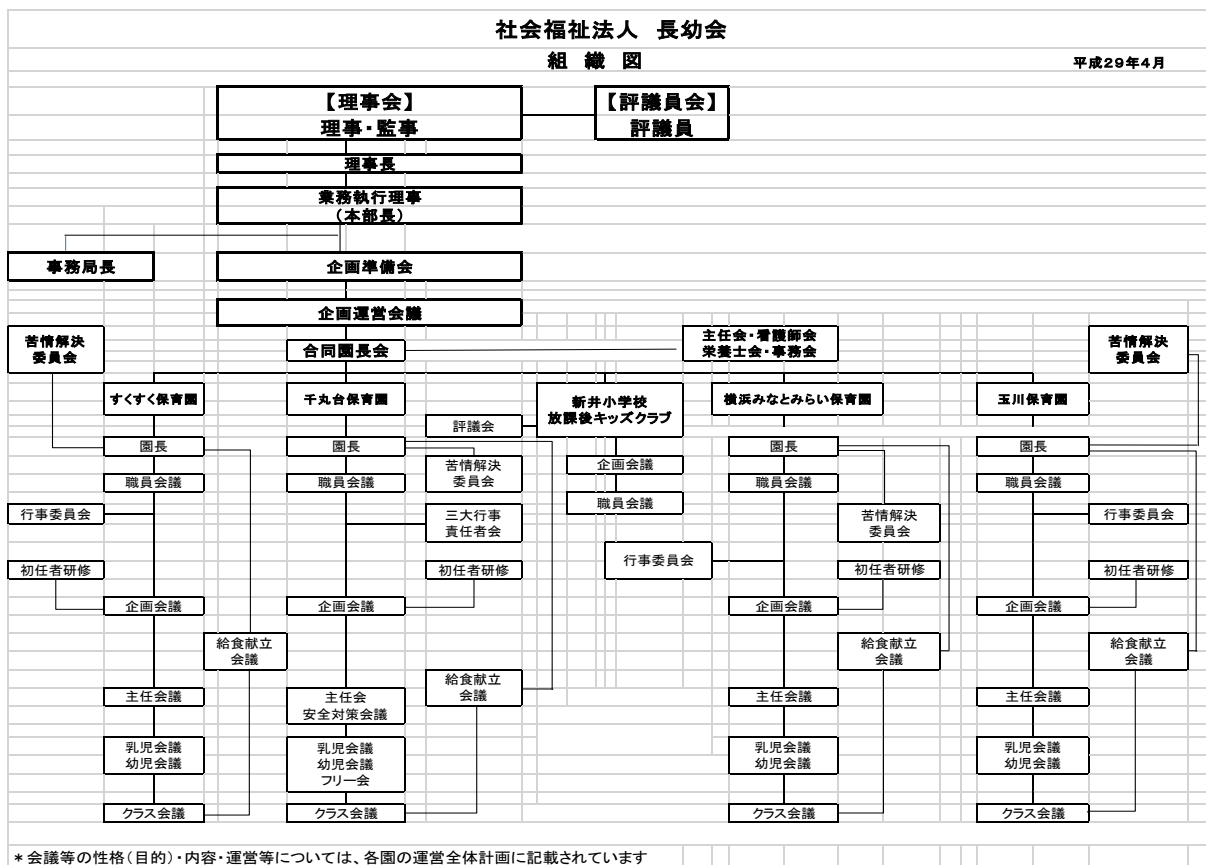
画が事業運営には欠かせません。近隣保育士養成校への訪問や地方採用を進めることから地方紙への保育士採用募集広告を行いました。

また、採用専用の WEB サイトの公開に向けて準備を進めてきました。

## II 法人本部機能の強化

### 【法人本部の設置と機能】

1. 本部機能との関係については、理事会（業務執行機関）・理事長・法人本部をまとめ、法人本部を理事（執行役員）・本部事務局員からの構成とし、社会福祉法人長幼会に新たな事業所として本部を設置する。法人本部には、本部長、事務局長、顧問、職員を置き、理事長は本部を代表する。ことを明確にし、ガバナンスの強化に努めてきました。
2. 本部機能としては、1) 評議員会の意思決定に基づき、役員は執行責任を負い、法人全体の各事業の計画的な進行管理を行う。（各事業、施設の運営支援と管理監督等）、2) 収支状況等の課題や、サービス提供等の事業運営上の課題について、現状だけでなく、起こりうるリスクを含めた具体的な情報を外部（国、市区町村、福祉医療機構、社協等）や法人内の各事業部門から収集し、分析すること。また、その結果について考えられる対応策を含め、理事長や理事会に報告、判断を求める。3) 複数の施設、事業を運営していることから、全施設・事業の経理、総務、人事を将来的には集約し、より透明性のある事業運営を目指すことを目的に対応を図ってきました。



3. 法人本部と法人事務局の役割を明確化にすることから、運営上の諸事務を担当する部局として事務局を設置し、事務局長を配置することにより役割の明確化を図る中で、各施設への支援

とともに、法人全体を俯瞰した職員採用に向けた養成校への訪問や採用専用のWEBサイトの構築などを進めてきました。

### 【内部管理体制の構築】

#### 1. 法人本部機能の確立

- ・法人全体をグループ経営の視点で捉え、現場である施設・地区や法人本部の階層ごとの役割や責任を明確にする。法人本部には業務処理を脱却し、法人全体を俯瞰した企画管理業務を担わせ、中長期的な観点から法人改革や成長戦略策定、採用や人事管理・育成などの課題に対応することとしました。

#### 2. 各施設（拠点）の管理監督業務の確立

- ・事業部門の管理単位を新会計制度に対応して拠点区分になってはいるが、施設長がマネジメント業務に対応できるように、リーダー層への権限委譲を意識してリーダー層を育成する。同時に業務の標準化を進め、マニュアル作成などの仕組みづくり、職員の意識の変革に取り組む。
- ・常に管理者（役員・施設長）として組織の運営・維持を念頭におき、自覚と責任を持ち、管理者間の意思統一、共通理解を図ることとしました。（「報告・連絡・相談」のしやすい環境を整える。）

#### 3. 事業統括機能の確立

- ・制度の異なる事業ごとに制度遵守や業務品質、教育などの観点から事業を制度横断的に管理する横ぐし機能を確認し、業務の適切性を確保するほか、教育の実施や業務監査対応を行うことから新たに本部機能を明確化し各事業の支援につながる体制としました。

## III 事業ならびにその運営状況

定款の定める本法人事業目的達成のため、保育所並びに放課後キッズクラブを運営しました。

平成 29 年度の特徴は、社会福祉法の一部改正に伴う対応として、所轄庁からの指示に基づき、ガバナンスの強化に向け、機関決定のあり方や本部機能の強化に基づく本部の設置、法制度改正に伴う関係規程の見直し等、事務手続きのあり方含めて改正福祉法への環境整備に努めてきました。

とりわけ社会福祉法の改正に伴う対応は、当然のことながらその改正の目的趣旨に沿った対応が必要となることから、目的として示された一つひとつの項目について、本部の設置に伴う企画準備会や企画運営会議等の場で検討を進め、確認の必要な項目については、理事会での確認を行いつつ進めてきました。

事業の透明性の観点からは、前年度から検討を進めてきた経理規程の見直し、役員報酬基準の見直しや関連する書類の整備を踏まえて、事業報告や計算書類等の各事業所へ備え置きし、閲覧に供するほか長幼会ホームページ上にて公開・公表してきました。

財務規律の強化については、社会福祉充実残額について該当しないものの、社会福祉法人として社会福祉充実計画に向け、法人としてできることについて、所轄庁からの調査への対応や新たな事業の可能性についても検討をしてきました。

施設内整備としては、各園の経年劣化に伴う不具合が建物・設備で生じていることから修繕を行うとともに、園庭遊具の更新等を行ってきました。

【平成 29 年度施設利用状況】

保育園名	利用状況			
	定員	1 日平均利用者数	年間利用者数	年間利用率
すくすく保育園	60	56.9	16,683	94.8
千丸台保育園	100	78.3	22,948	78.3
横浜みなとみらい 保育園	120	104.5	30,610	87.1
玉川保育園	135	101.3	29,693	75.0
計	415	341.0	99,934	82.2

IV 理事・監事・評議員

平成 29 年度の理事（6 名）、監事（2 名）、評議員（7 名）は次の通りです。

理事長 水野 恭一  
 理事 水野 尊仁      林 浩子      相原 陽子      木下 かおり  
       小林 純子  
 監事 佐野 忠昭      太田 正行  
 評議員 高橋 今朝次      飯田 嘉雄      栗原 泰光      天野 國秀  
       八木下 和雄      田中 千津子      澤 信一

V 理事会の開催状況

定款第 5 章に定める各条項に基づき、下記の理事会を開催しました。

- (1) 第 2 回理事会 平成 29 年 6 月 29 日（木） 於：ナビオス横浜 2 階「オリージャ」  
 出席者：10 名（欠席理事 3 名）  
 監事：2 名  
 法人職員：2 名  
 税理士法人：2 名  
 議事：第一号議案 平成 28 年度事業報告（決算・事業報告）の確認に関する件  
       第二号議案 社会福祉法人長幼会第 9 期役員（理事・監事）の任期満了に伴う解任に関する件  
       その他 法人顧問の退職について
- (2) 平成 29 年度第 1 回 理事会（新役員） 平成 29 年 6 月 29 日（木）  
 於：ナビオス横浜 2 階「オリージャ」  
 出席者：6 名（全員出席）  
 監事：2 名  
 法人職員：3 名  
 議事：第一号議案 理事長の選定に関する件  
       第二号議案 業務執行理事の選定に関する件  
       その他 今後の予定
- (3) 第 2 回理事会 平成 29 年 10 月 18 日（木） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」  
 出席者：6 名（全員出席）  
 監事：2 名  
 法人職員：2 名

- 議 事：第一号議案 社会福祉法人長幼会定款施行細則改定（案）に関する件  
第二号議案 育児・介護休業等に関する規程改定（案）に関する件  
第三号議案 平成 29 年度第 2 四半期補正予算（案）に関する件  
報告事項 理事長及び業務執行理事の職務状況報告
- (4) 第 3 回理事会 平成 30 年 3 月 6 日（火） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」  
出席者数： 理事・監事全員出席（8 名）  
理 事： 6 名  
監 事： 2 名  
議 事：第一号議案 平成 29 年度第 4 四半期補正予算（案）に関する件  
第二号議案 保育士宿舍借上げ支援事業への対応に関する件  
第三号議案 平成 30 年度事業計画（案）に関する件  
第四号議案 平成 30 年度予算（案）の取り扱いに関する件

## VI 評議員会の開催状況

定款第 3 章に定める各条項に基づき、下記の評議員会を開催しました。

- (1) 定時評議員会 平成 29 年 6 月 29 日（木） 於：ナビオス横浜 2 階「オリージャ」  
出席者数：17 名（欠席評議員 2 名）  
評 議 員： 5 名  
監 事： 2 名  
理 事： 10 名  
議 事：第一号議案 長幼会新評議員の確認に関する件  
第二号議案 平成 28 年度事業報告に関する件  
第三号議案 平成 28 年度決算並びに監事監査報告に関する件  
第四号議案 長幼会役員（第 9 期理事・監事）任期満了に伴う退任の確認につ  
いて  
第五号議案 長幼会役員（第 10 期理事・監事）選任に関する件
- (2) 第 1 回評議員会 平成 29 年 11 月 2 日（木） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」  
出席者数：10 名（欠席評議員 1 名）  
評 議 員： 6 名  
監 事： 2 名  
法 人 職 員： 2 名  
議 事：第一号議案 社会福祉法人長幼会定款施行細則改定に関する件  
第二号議案 育児・介護休業等に関する規程改定に関する件  
第三号議案 平成 29 年度第 2 四半期補正予算に関する件  
報告事項 理事長及び業務執行理事の職務状況報告
- (3) 第 2 回評議員会 平成 30 年 3 月 8 日（木） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」  
出席者数：13 名（評議員欠席者なし）  
評 議 員： 7 名  
監 事： 2 名  
理 事： 2 名  
法 人 職 員： 2 名  
議 事：第一号議案 平成 29 年度第 4 四半期補正予算（案）に関する件  
第二号議案 保育士宿舍借上げ支援事業への対応に関する件



( 宿舎借上げ規程の制定 ( 案 ) )

第三号議案 平成 30 年度事業計画 ( 案 ) に関する件

第四号議案 平成 30 年度予算 ( 案 ) の取り扱いに関する件

報告事項 理事長及び業務執行理事の職務状況報告

## Ⅶ 各種委員会

平成 29 年度の事業計画を遂行するため、下記委員会を開催して円滑な事業運営に努めてきました。

### (1) 企画準備会

理事長の諮問機関として、日常的な課題はもとより、短期・中期に及ぶ課題の抽出や法改正に伴う諸規程類の制定・改正の検討を進め、毎月の企画運営会議の円滑な議事進行に努めることを目的に月 2 回 ( 第一火曜日、第三火曜日 ) を基本に開催してきました。

### (2) 企画運営会議

法人の理念・方針等基本的考えの共通理解を図り、管理者の意思統一を図る場として、法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について審議するとともに、理事会への提出議案や報告事項の確認の場として、毎月定例的に開催してきました。

### (3) 合同園長会

法人各事業所 ( 四つの保育園 ) の円滑な運営及び各種の連携を図ることから、各事業所の課題、企画、イベントなどを持ち寄り、より良い保育を目指すことから相互の保育所運営に反映してきました。

### (4) 合同主任会議

各園の保育に関する事項や行事・研修等の連絡調整を図るとともに、保育主任としての共通理解を踏まえる場として年 6 回開催してきました。

### (5) 合同看護師会

各園の感染症発生状況の把握、保健業務内容等の情報交換をはじめとし、園児、保護者、職員の健康促進のために保健的な見地からの援助・指導に反映することを目的に、年 3 回開催してきました。

### (6) 合同事務会議

各事業所における会計及び事務処理手続きの課題や法対応に絡む手続き等の共通理解を深め、会計処理や事務処理を円滑に進めるための場として年 5 回開催してきました。

### (7) 合同栄養士会議

安全かつ衛生的な食事作りを基本とし、各園での取り組み情報を共有するとともに問題点や改善事例について意見交換し、給食提供に反映してきました。今年度は 2 回開催してきました。

## VIII 保育所の運営方針、保育目標

### 【運営方針】

地域や利用者から愛され、信頼される保育園作りを目指す。

1. 法人の保育理念である「高齢者や地域の方々への人的資源を活用し、次代を担う子どもたちとその家族を支えるより良い保育環境（保育園）を構築する。
  - (1) 子どもの最善の利益を守り、安心・安全な保育（園・環境）を目指す。
  - (2) 子どもたちの健やかな育ちを支援し、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たす。
  - (3) 高齢者や地域の方々とのふれあいを通じた心豊かな保育を目指す。

### 【保育目標】

1. 保育目標「思いやりのあるたくましい子どもの育成」

子どもの年齢の枠を超えた交流やふれあい体験、遊びや季節行事などを通して人間形成の基礎となる思いやりの気持ちや心身ともにたくましい子どもの育成を目指す。また、家庭や地域社会との連携を密にして、職員一同、子どもの人権を守り、真心と愛情をもって子育て支援に取り組めます。
2. 目指す子ども像
  - (1) たくましい子（社会性・自立心）
    - ・健康・安全・衛生等日常生活に必要な基本的生活習慣を身につける。
    - ・心身の健康の基礎を培うとともに、生命の保持及び情緒の安定を図る。
  - (2) 仲良くする子（優しさ）
    - ・周りの人とのふれあいの中から、思いやる心と道徳性を培う。
    - ・周りの人とのふれあいの中で、人に対する愛情と信頼、そして人権を大切にすることを育てる。
  - (3) よく考える子（自発性・知的好奇心）
    - ・周りの自然に興味をもって接し、動植物と仲良しになれる態度を養う。
    - ・周りの人の話をよく聞き、表現する態度を身につける。

平成 30 年 4 月 1 日より施行される改定保育所保育指針を踏まえて、より良い保育に向けて環境整備に取り組んできました。

# 平成29年度 すくすく保育園 事業報告

定員 60 名 (在籍 74 名)

## 1 施設運営状況

平成 29 年度は、保育目標である「思いやりのあるたくましい子どもの育成」に向け、職員を核として、保護者・隣接する都筑ハートフルステーションや地域の方々との連携を図るとともに、待機児童解消の観点から定員の 23% の弾力化として受入れを行うとともに、年間を通じて入所状況については、ほぼ安定した状況の中で施設を運営することができました。

一時保育は、保護者の就労形態やリフレッシュ等保護者からのニーズは高いものがありますが、利用希望は 0 歳・1 歳児が多いことから、1 日 1 人の受け入れに留まりましたが、可能な限りの受け入れを行いました。

職員育成に向けては、年齢階層別にも広がりを見せていることから、日常からお互いの考えを聴くこと・認めることを大切にし、職員間のコミュニケーションを図ることから各種会議・昼の時間のミーティング・連絡ノート等、情報共有に努めましたが、パート職員を含め 100% 伝わらず、伝達漏れしていることもあり、情報共有のあり方が今後の課題となりました。

また、法人の研修目標を基に、経験年数・職種に応じた園内・園外研修に参加し、人財の育成・資質の向上に取り組むとともに、わらべうた・リズム・和太鼓の定期研修に職員が順番に参加し、日々の保育や行事の中で生かし、全員で共有してきました。

### 【年間利用状況】 (各月月初人員)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	平均
男児	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	444	37
女児	35	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	442	37
計	72	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	886	74

### 【利用者状況推移】 (各年度 3 月 1 日現在)

年 度	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
25 年度	10	12	13	13	14	13	75
26 年度	10	12	13	11	13	14	73
27 年度	10	12	13	13	13	13	74
28 年度	10	12	13	13	13	14	75
29 年度	10	12	13	13	13	13	74

## 2 利用者支援状況

子どもたちひとり一人が自分らしさを発揮できるよう、寄り添い・気持ちを受け止め、園内外においても、様々な人との関わりやふれあいを大切に、思いやりや優しい気持ちが伝わるよう保育を進めてきました。

園外保育・菜園活動を通して四季の移り変わりを全身で感じたり、日々の保育の中で体験・発見・感動したことを受け止め、共有し保育に繋げてきましたが、栽培については途中で途切れてしまうこともあり、今後、計画・実践・振り返りを行うなかで環境を整え活動を支えていくこととします。

配慮・援助を要する子どもへの対応については、専門機関との連携をとりながら成長を援助するとともに、該当クラスに加配の職員を配置するなど安心して生活できる環境の整備に努め、保護者との信頼関係を築きながら、お子さんに対する共通理解を深められるよう取り組みました。

具体的に加配の認定を受けている子どもはいませんでした。が、援助・配慮を必要とする子どもは増える傾向にあり、6月・12月に北部療育センターの方に来ていただき、関わり方、保育の進め方について教えていただきました。情報は職員会議、記録書で共有し、全員が同じ対応をしてきました。

活動の内容や生活場面の移り変わりの際に、必要に応じて、職員を配置し、お子さんが安心して生活できる環境を作るよう取り組みました。

### 3 職員の状況

職名	平成29年4月1日の職員数				年間退任・就任										平成30年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)							
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算		
		契約職員	非常勤A	非常勤B		就任	退任	契約職員		非常勤A		非常勤B			就任計	退任計	契約職員	非常勤A			非常勤B	常勤換算
								就任	退任	就任	退任	就任	退任									
園長	1				1															1	1	
保育士	20	1	1	3	25	2	4							2	4	17		1	3	1.4	21	19.4
看護師	1				1	1	1							1	1	1					1	1
栄養士	2				2	1	1							1	1	2					2	2
調理員	2			1	3											2	2		1	0.3	5	4.3
事務員	1				1											1					1	1
嘱託医				2	2														2		2	0
計	27	1	1	6	35	4	6	0	0	0	0	0	0	4	6	24	2	1	6	1.68	33	28.7

\* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

### 4 施設整備状況

園設立後16年を経過しており建物付属設備や遊具などの経年劣化が進み破損が多くみられることや、セキュリティ強化の観点から、設備購入・更新を行ってきました。

- ・プールの購入（平成29年6月16日）
- ・門扉取り換え工事（平成29年8月9日）
- ・給食室の冷凍冷蔵庫の更新（平成29年8月19日）
- ・玄関横エントランス、コンクリート段差工事（平成29年11月9日～10日）
- ・園庭用時計、経年劣化により取り換え（平成29年11月16日）
- ・110番通報システム導入（平成30年3月26日）

## 5 年間行事報告

4・ 2	入園式	11・10	焼き芋会
4・28	子どもの日を祝う会	12・ 2	すくすく発表会
5・ 9	内科健診	12・16	育児講座（クリスマス制作）
5・12	幼児散歩遠足	12・20	お楽しみ会
5・24	尿検査	12・22	餅つき会
6・ 3	ふれあい祭り	1・12	だんご作り・どんど焼き
6・ 6	歯磨き指導（看護師）	1・17	おはなし会
6・ 8	歯科健診	1・26	おみせやさんごっこ
6・12	療育相談	2・ 1	節分会
6・19	プール開き	2・ 7	年長児交流
6・20	太鼓演奏会	2・17	アルバム制作会
6・23	歯磨き指導（看護師）	3・ 1	ひな祭り会
7・ 6	七夕会	3・ 3	新入園児説明会
7・ 8	育児講座（親子クッキング）	3・ 6	絵本読み聞かせ
7・21		3・ 9	お別れ遠足（しながわ水族館）5歳児
～22	お泊り保育（年長児）		
8・28	ボディペインティング	3・12	ハートフル交流会（5歳児）
9・ 7	敬老の日の集い（ハートフル）	3・17	卒園式
10・14	運動会	3・20	幼児お別れ会
10・15	さつまいも掘り（澤さんの畑）	3・30	進級式
10・19	幼児遠足		
10・24	療育相談		
10・31	なかよしパーティーごっこ		

## 6 健康管理

常勤の看護師を配置し、必要に応じて医療機関や関係機関と連絡を取り、子ども一人ひとりの発育発達に合わせ、安全に過ごすことができる環境作りを行いました。

- ・保健の年間計画を基に、お子さんたちが健康な生活習慣を身につけ、体力づくりや自らの健康に関心を持って、病気の予防や体力増進に取り組めるよう、絵本や模型を使い日々の保育の中でわかりやすく指導してきました。
- ・予防接種のすすめや区からの感染症情報の掲示等、保護者に情報発信を行ってきました。
- ・全園児、スポーツセンターに加入し、園での病院受診の際に必要なに応じて手続きを行いました。
- ・事故対応マニュアル・感染症マニュアルを作成し、全職員が同じ対応をできるよう、職員会議・日々のミーティングで周知・演習を行いました。

保健行事	実施日	対象年齢
内科健診（年2回）	5月 9日 ・10月 4日	全園児
歯科健診（年1回）	6月 8日	全園児
視聴覚検査（年1回）	6月	4歳児
尿検査（年1回）	5月24日	4・5歳児
身体測定（毎月1回）	毎月15日頃	全園児

爪検査 (週 1 回)	毎週月曜日	全園児
＜職員＞		
採用前健診	採用時	新採用職員
定期健康診断 (年 1 回)	7 月～8 月	全職員
細菌検査 (月 1 回)	毎月	全職員
予防接種 (年 1 回)	10 月～	全職員
健康チェック (毎日)	出勤時	全職員

## 7 食 事

月に 1 度、給食会議を行い喫食状況、献立内容、提供した食事の感想、反省、改善点等を栄養士・主任・看護師・クラス主任・園長が話し合い、よりおいしい給食の提供に取り組みました。

- ・栄養士・看護師・保育士が連携し、食品群や栄養バランスについてわかりやすく説明し、自分たちの体について関心を持てるような取り組みを行いました。
- ・食事摂取基準を活用し、薄味・和食中心の献立を取り入れ安全でおいしい給食の提供を行いました。
- ・主治医の指示書に基づき、アレルギー児（卵）への除去食の対応を行いました。
- ・予定献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・おやつ・アレルギー児食・延長補食・夕食）の配布。また、補食・夕食については、楽しく・美味しく食べることを中心に考え、取り組みました。
- ・離乳食は、保護者の方と連携を取りながら、移行表を基に発達に合わせて進めていきました。
- ・日々の離乳食・給食・おやつ・補食・夕食を給食室前のサンプルケースに一人分の量を展示し、園での食事量をわかりやすく伝えていきました。
- ・人気メニューや簡単レシピのプリントを用意し、家庭でのお子さんと保護者の食育につなげてきました。
- ・9 月の総合防災訓練の際には、非常食を献立に組み込み、提供しました。

## 8 衛生管理

### ＜保育室＞

- ・クローラ水を使用し、掃除やおもちゃの消毒を実施
- ・各保育室に加湿器と空気清浄機を設置
- ・玄関・保育室・ホールにアルコール手指消毒液を設置
- ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し、二次感染の防止
- ・園児の午睡用布団の乾燥を業者に依頼（2 か月に 1 度）

### ＜給食室＞

- ・衛生チェック票を作成し、日々衛生項目に沿っての確認作業を実施
- ・調理室、ワゴン、冷蔵庫等の消毒
- ・食器洗浄後、熱風庫にて保管原材料・調理済み食品の保存（2 週間）

### ＜施設＞

- ・年に 2 回（春・秋）、害虫駆除の実施。

## 9 安全管理

- ・毎月 1 回（火災・地震・不審者・洪水等）色々な時間帯を想定し、抜き打ちで避難訓練実施。消火訓練も実施
- ・年 1 回（9 月の総合防災訓練時）引き渡し訓練の実施
- ・遊具は、遊ぶ前に点検を行い、安全確認の実施
- ・月 1 回、保育室・園庭・園舎周りの安全点検を行い、危険個所の確認、修理を行いました。
- ・防災設備点検の実施（年 2 回）1 回は都筑消防署に届出しました。特に問題はありませんでした。
- ・非常食糧の備蓄（全園児＋職員）× 3 食×（1 日～3 日）分を確保

## 10 特別保育の実施

### <一時保育事業>

- ・1 日に各クラス 1 名、生後 6 か月よりの受け入れを行いました。0 歳児、1 歳児の利用希望が多く、できるだけ大勢の方が利用できるよう調整しました。

### <延長保育事業>

- ・支給・認定区分に応じた保育時間内にお迎えに来られない場合に必要に応じて保育支援を行うとともに、夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

### <障害児保育事業>

- ・障害児認定の子どもはいませんが、支援が必要な子どもは多く、関係機関・保護者の方と連携を取りながら、他のお子さんたちとの生活を通して、共に成長できるよう、保育支援を行いました。

### <療育相談>

- ・春と秋の 2 回、北部療育センターの方に来ていただき、気になる子どもへの対応について教えていただき、職員会議で報告し、共通理解を図りました。

### <体操指導・太鼓指導>（幼児クラス・年 10 回）

- ・外部の講師をお願いし、年間プログラムにそって幼児クラスが行いました。運動会や発表会で、成長した姿をお見せすることができ、保護者の方からも継続の声をいただきました。
- ・和太鼓については、すすく保育園のオリジナル曲を作って頂き、3 月の引継ぎ式の時に、年長児が発表しました。

### <地域活動推進事業>

#### \*世代間交流（都筑ハートフルステーション・横浜はつらつ・横浜ゆうゆう）

- ・ふれあい祭りの共同制作、敬老の日の集い、年長児交流、散歩等、各クラスの子どもたちが施設の利用者の方と年齢に合わせた形で世代間交流を行いました。

#### \*異年齢児交流

- ・行事の際の卒園児との交流や近隣小学校の 1 年生・2 年生・5 年生と学校探検や保育園交流を行いました。

#### \*姉妹園交流

横浜みなとみらい保育園 5 歳児、玉川保育園 4 歳児と交流を行いました。

#### \*実習生・中高生保育体験

養成校の学生をはじめ、夏休みに大学生・高校生のボランティア、中学生の職業体験などの受け入れを行いました。保育の仕事を経験し将来につなげてほしいと思います。

#### \*園庭開放・育児講座・育児相談の実施

### <幼・保・小の連携>

幼・保・小の連携では勝田小学校・中川小学校の1年・2年・5年生と年長児の交流・近隣保育園（やまた保育園・キッズフォレ）と年長児の交流をしてきました。

\*小学校との交流（中川小学校・勝田小学校）

・春に中川小学校の2年生が来園し、年長児と交流を行いました。秋には1年生、5年生と交流し、小学校探検や秋祭りなどに参加し、期待を膨らませることができました。

\*近隣の保育園との交流（やまた保育園・キッズフォレ・勝田保育園）

・近隣保育園の交流は年長児が中心に行いました。各園とも、ひとクラスの人数が少ない為、小学校に向けて大きな集団での経験をすることができました。また、同じ小学校へ通う子どももいるなかで、交流の場で仲良くなれたことは、小学校へ入ってからの安心感にもつながったと考えています。

## 1 1 保護者に向けて

- ・重要事項説明書について、前年度からの変更点について年度末のクラス懇談会で説明を行い、署名捺印をいただきました。また、新入園児は入園説明会の際に説明を行い、署名捺印をいただき、割り印押印したのち保護者・園で卒園まで保管します。
- ・緊急時防災メールや掲示板の利用登録を保護者、職員にお願いし、毎月の避難訓練後に訓練の様子をテストメールとして発信しました。
- ・保護者アンケートを実施し、保育の質の向上・行事の見直し等に向け、保護者の意見を反映させました。
- ・各行事への参加のお誘いを行うとともに、日常の保育の様子もいつでも参観できるよう声掛けしました。（年に2回、5月と1月に保育参観週間の機会を設けました）
- ・年度初め・年度末にクラス懇談会を実施。
- ・年1回、個人面談を行いました。
- ・保護者へのお知らせについて、連絡ノート・連絡帳・連絡ボードを利用し、園での様子やご家庭での様子を共有しながら、保護者との信頼関係を築いていけるよう取り組みました。
- ・保護者の方の不安や、ご意見等についても職員間で共有し、内容によって担任・主任・園長が話し、早めの対応を心がけました。
- ・保護者の方の表情や態度、声のトーンなど、出来るだけ早くキャッチして、職員から声をかけコミュニケーションを取るよう努めてきました。
- ・日々の様子はクラスごとに写真と共に貼りだしをし、行事はその都度、様子を玄関の入り口に掲示し、お子さんと一緒に話題を共有できるように努めました。また、園の掲示板も利用し、子どもたちの様子を発信してきました。

### <毎月1日発行>

園だより ・クラスだより ・保健だより ・給食だより

### <月末に発行>

献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・アレルギー児食・おやつ・補食・夕食）

## 1 2 職員・園務

- ・連期のある小学校を中心に、卒園児がいる小学校の授業参観・運動会を参観に行き、連携を図りました。
- ・職員の処遇改善計画書の届け出を行い、職員対して賃金の改善を図りました。



- ・産休・育休の取得・育児短時間勤務の職員がいること、また、外部への研修に参加してスキルアップができるよう、配置基準よりも多めの職員を採用する中で参加機会の拡大を図りました。
- ・産休・育休 2名 育児短時間勤務 2名 新採用 3名
- ・市・区等の研修・わらべうた・4園の合同研修に参加し、スキルアップの機会拡大と研修してきた内容を職員会議で報告、共有し、日々の保育の中で実践しました。

＊研修機関

- ・法人全体研修・園内研修
- ・4園職員交換研修
- ・横浜市子ども青少年局主催研修
- ・都筑区主催研修
- ・和太鼓研修
- ・各自の希望参加研修

＊その他

- ・福祉団体総合保険・医療保障保険に加入しています。
- ・福利厚生として福祉医療機構退職金制度・横浜市勤労者福祉共済（はまフレンド）に加入しています。

### 1 3 平成 2 9 年度研修内容

様々な条件の職員がいること、また、外部への研修に参加を考え、配置基準よりも多めの職員を採用しスタートしましたが、年度途中での退職や産休、怪我等があり、日々の保育を安全に行うことを優先していくことから、研修への参加が少なかったと感じています。職員数が少なくても研修に参加できるよう環境整備を図ることが課題として残りました。

#### 【平成 29 年度研修内容】

日時	場所	内容	主催	人数
5月27日	板橋ハイライフプラザ	口をめぐるトラブル	新医協会	1名
5月29日	鶴見公会堂	集団給食における衛生管理について	鶴見乳幼児福祉センター保育園	1名
6月10日	鶴見乳幼児福祉センター	絵の学習会「こどもは描く」	鶴見乳幼児福祉センター保育園	1名
9月9日	同上	同上	同上	1名
11月18日	同上	同上	同上	1名
12月4日	横浜市北部療育センター	障害児保育実地研修	こども青少年局	1名
1月20日	県民共済みらいホール	絵本作家講演会	福音館	2名
1月27日	鶴見乳幼児福祉センター	絵の学習「こどもは描く」	鶴見乳幼児福祉センター保育園	1名
2月9日	港北公会堂	改定保育所保育指針を学ぶ研修会	港北区 みどり保育園	2名

毎月 第3木曜日	茅ヶ崎保育園	和太鼓研修	打鼓音	3名
毎月 第1水曜日	たまプラーザ地域ケア プラザ	わらべうた研修	わらべ歌の会	3名
毎月1回	保土ヶ谷区小学校	リズム研修	鶴見乳幼児福祉センター保育園	2名

4月29日	横浜みなとみらい保育園	長幼会 4園合同研修	法人	19名
-------	-------------	------------	----	-----

# 平成29年度 千丸台保育園 事業報告

定員 100名 (在籍 99名)

## 1 施設運営状況

入所状況は、ほぼ定員を満了し0歳児は年度初めより定員外を含め受け入れを行いました。また運営も安定しており、年度末には、人件費・設備費・修繕費と積み立てをおこなう事ができました。

修繕工事から1年が経過しましたが、施設を清潔に保つよう心がけ職員一同、清掃や整理整頓に気を配り取り組んで参りました。そのためもあり次年度の入所に向け、夏ごろより見学者が増え、その都度対応してきました。園庭・保育室共に広く、明るい環境と多くの方に感じていただく事ができました。

増築棟のプレイルームでは、子育て支援として地域の方をお誘いして育児講座を行い、開かれた保育園を目指しながら子育てのサポートをすすめました。

職員の雇用については、ぎりぎりの体制ではありますが、全職員で協力しながら保育する事ができたと思っています。

### 【年間利用状況】 (各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	53	54	53	53	52	53	53	53	53	53	53	52	635	52.9
女児	51	49	50	50	50	50	50	50	50	50	49	48	597	49.8
計	104	103	103	103	102	103	103	103	103	103	102	100	1,232	102.7

### 【利用者状況推移】 (各年度3月1日現在)

年 度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
24年度	10	13	17	17	19	21	97
25年度	11	13	17	17	18	19	95
26年度	11	13	17	17	19	17	94
27年度	10	13	17	16	20	19	95
28年度	11	14	18	20	21	21	105
29年度	11	15	17	19	18	20	100

## 2 利用者支援状況

4月より0歳児の入所が定員外含めいっぱいになりました。乳児クラスは空きのない状態で保育をしました。安心・安全を第一に子どもたちが心満たされ、職員と信頼関係を作れるように関わり、安定した日々が過ごせるように工夫する事ができました。

幼児クラスは自然に恵まれた環境を楽しみ、菜園活動や園外への散歩に出かけ太陽の日を浴びながら保育する事ができました。また年長児は就学に向けて、ひらがなの練習を取り入れてアプローチカリキュラムの実践をおこないました。

運動会では、初めて『和太鼓』に挑戦をし、構えから指導をしリズム打ちを練習し、クラス全体の発表へとつなげていく事ができました。

### 3 職員の状況

職名	平成29年4月1日の職員数				年間退任・就任										平成30年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)								
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算			
		契約職員	非常勤A	非常勤B		就任	退任	契約職員		非常勤A		非常勤B			就任計	退任計	契約職員	非常勤A			非常勤B	常勤換算	
								就任	退任	就任	退任	就任	退任										
園長	1				1																1	1	
保育士	18			9	27		4						7	2	7	6	17			12	5.6	29	22.6
看護師	1				1												1					1	1
栄養士	2				2	1	1								1	1	1					1	1
調理員	2			3	5	1	1					1		2	1	2			4	1.8	6	3.8	
事務員	1				1												1					1	2
嘱託医				1	1														1			1	1
計	25	0	0	13	38	2	6	0	0	0	0	8	2	10	8	23	0	0	17	7.4	40	32.4	

\* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

### 4 施設整備状況

保育室・ホール内のマットを購入しました。厚みがあるため、床で遊んでいても寒くなく、また、乳児が転倒してもクッションの役割をするので、怪我を防ぐ事ができました。また防炎仕様を施しており、安全で安心な保育室になっています。

園庭には、『ぼくらの秘密基地』という固定遊具を購入しました。乳児・幼児共に楽しむ事が出来、手や足の力などの運動能力を高めることができます。

### 5 年間行事報告

4. 3	入園式・進級式	1 1. 1	がやっこドッチボール大会
5. 1	こどもの日を祝う会	1 1. 2	人形劇
5. 2	茶摘み	1 1. 17	やきいも会
5. 23	内科健診	1 1. 23	大根抜き
5. 30	がやっこスポーツフェスタ	1 2. 9	おたのしみ会
6. 2	さつまいも苗植え	1 2. 25	クリスマス会
6. 15	歯科健診	1 2. 26	おもちつき
6. 20	じゃがいも掘り	1. 10	ししまい
7. 7	七夕の会	1. 15	お正月遊び
7. 27~28	おとまり保育	1. 18	お店屋さんごっこ
8. 14~16	夏期合同保育	1. 24	がやっこお正月遊び
8. 25	夏祭り	2. 3	節分の会
9. 5	大根種まき	3. 2	ひなまつりの会

- |        |         |       |           |
|--------|---------|-------|-----------|
| 9. 7   | プール納め   | 3. 8  | お別れ遠足     |
| 9. 15  | 敬老の日の会  | 3. 9  | 大きくなったねの会 |
| 10. 14 | 運動会     | 3. 13 | じゃがいも種芋植え |
| 10. 17 | 内科健診    | 3. 23 | 第14回卒園式   |
| 10. 20 | 園外保育    | 3. 30 | 30年度進級式   |
| 10. 24 | さつまいも掘り |       |           |
- \*誕生会(毎月)
  - \*体操教室(幼児)月2回金曜日
  - \*おはなし会(幼児)月1回
  - \*リズム遊び(幼児)週1回
  - \*お習字(5歳児)月1回
  - \*新井小学校交流(1・5年生)・白根保育園交流・がやっこ交流(保土ヶ谷区公私保育園)
  - \*世代間交流(ケアプラザ)
  - \*地域交流
  - \*布団乾燥(2ヶ月に1回)
  - \*害虫駆除(年2回)
  - \*個人面談
  - \*懇談会・試食会

## 6 健康管理

園児は内科健診(年2回)・歯科健診(年1回)。視聴覚検査(4歳児・年1回)・尿検査(4・5歳児年1回)を実施した。また全園児対象に身体測定(月1回)、爪検査・頭髪検査を(毎週1回月曜日)行いました。

職員は定期診断(年1回)及び全職員の細菌検査(毎月)を実施した。また毎日『健康チェック表』に記入し、職員の体調を把握し健康管理に努めてきました。

感染症発生時は、早めに保護者へ周知し感染が拡大しないように手洗いの励行など予防に努めてきました。

## 7 食 事

すべての活動の源となる大切なものと認識し、安全でおいしい給食を目指しており、和食を中心とした献立を取り入れています。

栄養士が献立を作成し、完全給食の実施。保護者の方へは、毎月末に翌月の献立表を配布しています。

食事形態は離乳食(5～6か月食・7～8か月・9～11ヶ月食)

12～18か月食

未満児食

幼児食

- \* 暦に合わせて、行事食を取り入れ食事の楽しさを伝えてきました。
- \* 「アレルギー疾患生活管理指導表」の提出に基づき、アレルギー食の対応をしてきました。
- \* 保育時間に応じて補食・夕食の対応をしています。
- \* 当日の給食(離乳食・昼食・おやつ・補食)をサンプルケースに掲示しています。
- \* 栄養士による食育指導を定期的におこなっており衛生面の大切さや噛む事の大切さなどわかりやすく伝えられるよう努めてきました。

## 8 衛生管理

衛生面では、玩具の消毒・掃除はクロール水(次亜塩素酸)を使用し、安全・清潔に保てるようにしました。

保護者の方へは保育室入室の際、手洗い・うがいをしていただき感染症予防に努めました。

各保育室には空気清浄器を設置し、冬は湿度を保つために加湿器を設置しました。

## 9 安全管理

- ・防災訓練：毎月1回避難訓練(地震・火災・防犯・停電)、消火訓練、スミスライト訓練、通報訓練を実施した。
- ・毎月『安全点検表』で保育室・園庭の危険個所の点検を行い、危険個所について早急に対応できるよう努めてきました。
- ・毎月『事故チェックリスト』の安全項目を担当同士で確認、話し合い危機管理意識を持つように心がけてきました。
- ・交通ルールの約束事など保育の中で教材を使用し、分かり易く子どもたちに伝えてきました。また、散歩時に指導したり実践してみたりしてわかりやすく伝えました。
- ・防犯カメラ3台(園庭・裏門・正門)を設置し、安全対策の強化を図りました。

## 10 特別保育の実施

### <地域交流>

地域に根差した保育園を目指し、園庭開放(夏はプールあり)や育児相談をおこなってきました。園の行事に参加していただいたり、保土ヶ谷区が主催の赤ちゃん教室を保育園で開催したり、子育て支援を行ってきました。

また育児講座では、毎年好評の『ベビーマッサージ』をおこない、外部講師の方に依頼し、愛着の大切を伝えながら和気あいあいと行うことができた。

### <実習性・ボランティア>

#### 【実習生】

- ・聖ヶ丘教育専門学校1年生 実習日数 11日間
- ・國學院大學2年生 実習日数 12日間

#### 【ボランティア】

- ・夏祭り 白山高校

## 11 保護者に向けて

\*クラス懇談会を年2回実施し、年度はじめには保育目標を踏まえ1年間のねらいの説明、また、年度終わりには、1年の振り返りと進級・就学に向けての話しをするなど、保護者との情報共有に努めてきました。

\*年2回の懇談会では、保育園の様子・家庭での様子を伝えあい、保護者・担任と話す時間を設けるとともに、試食会として、保護者の方にも保育園の味付けや食材の切り方などを知っていただくために、おやつ試食会や給食の試食もバイキング形式で行い、家族で来ていただき、子

ども・保護者が一緒に園のおやつや給食を召し上がるなかで、楽しい時間を過ごすことができるよう計画・実行し、好評を得ることができました。

- \*保育参観・保育参加もおこなっており保育園でのお子さんの様子をみていただいたり、実際に保育に参加していただくなど保育体験の場を提供してきました。また希望者には個人面談をし、悩みや相談を受けアドバイスしたり保育園でのお子さんの様子を伝えたりして成長を分かち合えるようにしました。
- \*年度末には、『保育(園)に関するアンケート』を実施し、保育を見直している。保護者のニーズに応えられるように改善できる点を話し合い来年度の保育につなげていけるようにしました。
- \*保護者の方とは、コミュニケーションをとるように心がけ、信頼関係を築けるように努めてきました。

## 1 2 職員・園務

- \*年 2 回 地域指導者交流会に参加し、地域の関係機関との顔の見える関係づくりを行ってきました。
- \*園の自己評価を全職員で行い、千丸台保育園の保育を見直しました。周知されていない部分や今後に向けて取り組んでいく部分などが明確になりました。内容については、千丸台保育園のホームページで公開しています。
- \*職員は保育の質の向上の為、横浜市や保土ヶ谷区主催の研修を受講した。研修報告をし、日々の保育に活かしている。

## 1 3 平成 2 9 年度研修内容

月日	内容	主催	人数
4 月 29 日	法人 4 園合同研修	長幼会	全職員
7 月 25 日	療育セミナー 理解編	西部療育センター	1 名
7 月 27 日	幼保小教育連携研修会	横浜市	1 名
10 月 17・23・31 日	保育士等キャリアアップ研修障害児分野	横浜市	1 名
11 月 17・30 日	保育士等キャリアアップ研修障害時分野	横浜市	1 名
11 月 16 日	5 区合同研修	保土ヶ谷区	3 名

### 【園内研修】

※ 職員会議の時間などを使い、全職員が研修できるようにしている。

内容
嘔吐処理研修
エビペン研修
救命救急研修
プール水質管理研修
法人 4 園との行事交流研修

## 平成 29 年度 横浜みなとみらい保育園 事業報告

定員 120 名 (在籍 134 名)

### 1 施設運営状況

昨年度に引き続き、定員の12%増の弾力化を行い、待機児解消に努めました。また、保護者のニーズを受け延長保育(朝 30分、夕方2時間半)を実施し、保護者の就労支援に努めるとともに、延長保育の中で安心して子どもたちが過ごすことができるよう環境整備等配慮しました。

また、一時保育は保護者のパート就労やリフレッシュ等様々なニーズに対応し、生後六か月から就学時までのお子さまを最大11時間受け入れる体制を整えています。一時保育専用の保育室で最大19名のお子さまをお預かりすることができ、0歳児(生後6か月から)は保護者の方にも安心してお預けしていただけるように、0歳児クラスでの受け入れし、在園児同様 離乳食にも対応しています。4・5歳児に関しては、幼稚園の春休み・夏休み等のご利用が多く、在園児のお部屋で3名ずつ受け入れをできるようにしています。平成29年度は年間延べ人数 3,285名、月平均273名の方が利用されました。

保育園の自己評価や保護者のアンケート結果等から課題分析をし、保育の質の改善につなげました。

また、横浜市の指導監査を受け、違う視点からの改善点を挙げていただいたことで、より安全で安心な保育・運営を行うよう努めました。地域との交流では、園庭開放や夏場の水遊び、育児相談、貸出図書、交流保育等で子育て支援を行うとともに、近隣の中学生、高校生の保育体験受け入れなど世代間、異年齢児交流に努めました。

地域との関わりにおいては、地域公私立保育園交流、幼保小交流、町内会行事への参加、出前保育、体験保育、育児講座、に積極的に努め、保育所の役割発揮につなげることができました。また、有志職員が地域消防団に加入し活動することで、地域との連携にも努めました。

職員育成では、対象職員がキャリアアップ研修に積極的に参加し、それを園内で伝え合うことで、園全体の資質の向上に努めました。

#### 【年間利用状況】 (各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	53	53	53	53	53	53	53	54	54	54	54	54	641	53
女児	82	81	81	81	81	82	81	81	81	81	81	80	973	81
計	135	134	134	134	134	135	134	135	135	135	135	134	1,614	134

#### 【利用者状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
24年度	20	22	23	23	23	23	134
25年度	20	22	23	23	23	23	134
26年度	20	22	23	23	23	22	133
27年度	20	22	23	23	22	23	133
28年度	20	22	23	23	20	22	130
29年度	20	22	23	22	23	24	134

## 2 利用者支援状況

「思いやりのあるたくましい子どもの育成」を保育目標に、身体を使った遊びを通しての体力作り体育指導、クッキング、昨年度より実施した2歳児から年長児の英語指導など様々な活動を取り入れる中で、一人ひとりが自分の力を十分に発揮し、仲間と育ち合えるよう努めました。

また、「自発性・知的好奇心」「優しさ」を育てるために、大人が先廻りしすぎず、見守ることを職員間で意識統一していくと共に懇談会等の機会を通して保護者にも伝えていきました。

グループでの話し合いを通して自分たちで作りに上げる経験を意識して取り入れていく中で、子どもたちの達成感や自信につなげていきました。

3時間延長保育の実施に伴い補食・夕食提供、また、延長保育の子がゆったりと過ごせる環境作りや保護者との連携に配慮しました。職員間では、マニュアル作りや連絡事項の徹底を行い、保育の質の向上に努めました。また、保育参加を積極的に取り入れ、保護者との共通理解につなげていきました。

保育学校の実習生・、近隣中学・高校の保育所体験・を積極的に受け入れました。

## 3 職員の状況

職名	平成29年4月1日の職員数				年間退任・就任										平成30年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)								
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算			
		契約職員	非常勤A	非常勤B		就任	退任	契約職員		非常勤A		非常勤B			就任計	退任計	契約職員	非常勤A			非常勤B	常勤換算	
								就任	退任	就任	退任	就任	退任										
園長	1				1																1	1	
保育士	30	2		13	45	5	7	2	2			1	2	8	11	28			11	5.0	39	33	
看護師	1				1											1						1	1
栄養士	1				1											2						2	2
調理員	3			3	6	1							2	1	2	3			1	0.4	4	3.4	
事務員	1				1											1						1	1
嘱託医				2	2														2			2	2
その他																			3	1.6	3	1	
計	37	2	0	18	57	6	7	2	2	0	0	1	4	9	13	36	0	0	17	7	53	44.8	

\*その他は、補助要員（資格未取得者）

\*臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

## 4 施設整備状況

- ・給食室コンロ修繕（平成29年5月11日）
- ・給食室天井修繕（平成29年7月2日・9日）



- ・玄関手すり修繕 (平成 29 年 8 月 31 日)
- ・女子更衣室ドア修繕 ・園庭門扉修繕 (平成 29 年 9 月 12 日～13 日)
- ・乳児室仕切りドア戸袋設置工事 (平成 30 年 2 月 28 日)

## 5 年間行事報告

4 月 1 日 入園式	9 月 13 日 人形劇鑑賞
誕生会 (毎月)	9 月 15 日 敬老の日を祝う会
避難訓練 (毎月)	10 月 7 日 運動会
懇談会 (各クラス)	芋ほり (4・5 歳児) (姉妹園交流)
お話し会 (2 歳児～5 歳児 毎月)	保育参観週間 (全クラス)
4 月 28 日 子どもの日を祝う会	10 月 20 日 秋の園外保育 (幼児)
※ 体育指導 (幼児 月 2 回)	10 月 31 日 わいわい仮装パーティー
※ 英語指導 (2～5 歳児 月 1 回)	11 月 5 日 西区民まつり参加 (5 歳児)
5 月 18 日 開園記念日 (10 周年)	11 月 6 日 2 歳児とあそぼう会 (交流保育)
横浜消防音楽隊	12 月 9 日 生活発表会
5 月 19 日 春の園外保育 (幼児)	12 月 15 日 もちつき会
※ 園児内科健診 (年 2 回)	12 月 22 日 お楽しみ会
※ 尿検査 (4・5 歳児)	1 月 10 日 お正月遊びの会
6 月 2 日 さつま芋の苗植え (5 歳児)	1 月 12 日 繭玉団子作り (2～5 歳児)
6 月 6 日 プール開き	1 月 15 日 就学前交通安全教室 (5 歳児)
保育参観・試食会 (各クラス)	懇談会 (5 歳児)
歯磨き指導 (3～5 歳児)	1 月 19 日 ジャパンフィッシングショー (5 歳児)
赤染体験 (3～5 歳児)	2 月 2 日 節分会
6 月 歯科健診 (全園児) 年 2 回	懇談会 (0～4 歳児)
30～7 月 1 日 お泊り保育 (5 歳児)	2 月 23 日 お別れ遠足 (5 歳児親子)
7 月 1 日 七夕会	2 月 24 日 入園説明会 (新入園児)
7 月 14 日 夏まつり	3 月 3 日 ひなまつり会
7 月 27 日 交通安全教室 (2～5)	3 月 17 日 第 10 回卒園式
9 月 1 日 総合防災訓練	3 月 30 日 進級式
9 月 4 日 平沼水天宮例大祭子ども神輿	

## 6 健康管理

園児・職員の定期健康診断及び全職員の細菌検査を毎月実施した  
 給食職員にはノロウイルスの細菌検査の別途実施した  
 職員のインフルエンザ予防接種の実施  
 健康管理には最善の注意を払い、感染症については保護者にも周知することで、拡散は防げた。

## 7 食事

<おいしく たのしく げんきになろう>を給食目標に掲げ、子どもたちが健やかに育つために年齢 (月齢) や成長に応じて、栄養士がたてた献立による完全給食の実施をしています。  
 また、アレルギー児への除去食の提供、3 歳児以上の子どもたちへの主食の提供や、延長保育

を利用する児には補食や夕食の提供も行っています。  
また、食に興味を持てるようにクッキング保育やプランター栽培、また 4・5 歳児は姉妹園への収穫体験等の食育活動を行っています。

## 8 衛生管理

危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行った。

## 9 安全管理

- ・交通安全教室を行ない関係機関と連携を取ることが出来た。
- ・警察署ご協力のもと誘拐防止講座の実施
- ・防犯訓練、毎月 1 回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施した。
- ・消防計画や避難確保計画（洪水）の作成及び備蓄品の確保

## 10 特別保育の実施

- \*産休明け保育
- \*延長保育
- \*障がい児保育
- \*地域子育て支援
- \* 夏祭りには地域の親子も招待し一緒にお祭りを楽しんでいただきました。また、地域のお祭り際には保育園の子どもたちも参加させていただき、園で作った子ども神輿も担がせていただいた。
- \* 敬老の日を祝う会では、祖父母を招待し、ふれあい遊び等の交流会を今年も実施した。
- \* 育児講座や保育園の行事に積極的に参加を呼び掛けて、地域交流を行なった。
- \*月に一度、意図的に異年齢児との交流を行い、いたわる気持ちや敬う気持ちを育てています。
- \*体育指導（3～5 歳児）
- \*英語指導（2～5 歳児）
- \*実習生・ボランティア保育体験
  - ・短大の受入校（3 校）実習実日数（10 日）実人員 4 名
  - ・専門校受入校（2 校）実習実日数（10 日）実人員 2 名
  - ・専門校受け入れ（1 校）見学実習（1 日）実人数 13 名
  - ・高校性受け入れ（1 校）保育体験（3 日）実人数 3 名（頭を揃えました）

## 11 保護者に向けて

- ・園だよりや保健だより、給食だより、クラスだより、献立表等各種おたよりの配布。
- ・育児講座の開催
- ・各種行事へのお誘い
- ・ホームページや掲示板の開設
- ・第三者委員の設置
- ・保護者アンケートを実施し、利用者の要望を把握
- ・中央図書館のご協力のもと貸出図書の実施

## 1 2 職員・園務

- ・有志職員が地域消防団に加入し、自園の防災力を高めることはもちろん、地域の防災力を高めること、地域の方との結びつきに努めています。
- ・地域出前講座への参加
- ・幼保小交流
- ・自治会への参加
- ・西区行事への積極的参加
- ・西区園長会・子育て支援会議に参加

## 1 3 開園 1 0 周年記念事業

・昨年度の 5 月 1 8 日に開園 1 0 周年を迎え大きな節目の年となりました。お祝いとして子どもたちとともに何か記念になるようなことできないかということで年長児に大きなケーキを作ってもらい玄関カウンターに飾り保護者の皆様にも観ていただきました。

また、園庭で全園児と職員とで集合写真を撮り、大きく引き伸ばし廊下に飾っています。とても良い記念になりました。

## 1 4 平成 2 9 年度研修内容

日時	場所	内容	主催	人数
4/29 (土)	横浜みなとみらい保育園	コミュニケーション・グループディスカッション	長幼会・主任会	4 3 名
6/12 (月)	西区役所 3F 3B 会議室	発達と子どもへの関わりについて	西区子ども家庭支援課	1 名
6/12 (月)	横浜みなとみらい保育園	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	2 4 名
6/13 (火)	横浜みなとみらい保育園	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	1 6 名
6/14 (水)	横浜みなとみらい保育園	C P R 研修	横浜みなとみらい保育園	1 0 名
7/10 (月)	横浜技能文化会館 2 階ホール	自閉症スペクトラム障害の理解 (知的障害編)	横浜市子ども青年局	1 名
7/18 (火)	横浜技能文化会館 3 階ホール	自閉症スペクトラム障害の理解 (高機能障害編) (障害の理解基礎編)	横浜市子ども青年局	1 名
7/21 (金)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	子どもの心と体を育む食生活	横浜女子短期大学保育センター	1 名
8/ 4 (金)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	わらべうた・あそびうた	横浜女子短期大学保育センター	1 名
8/ 5 (土)	高津市民館 (ノクティールホール)	ワンダーサマースクール	ワンダー	1 名
8/ 3 (木)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	手遊びうた	横浜女子短期大学保育センター	1 名
9/12 (火)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	食物アレルギーの理解と予防	横浜女子短期大学保育センター	1 名
10/12 (木)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	カウンセリングにおける基本姿勢	横浜女子短期大学保育センター	1 名
10/16 (月)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	0 歳児の発達特徴	横浜女子短期大学保育センター	1 名
10/17 (火)	横浜市 技能文化会館	自閉症スペクトラム障害の理解 (高機能編)	横浜市子ども青年局	1 名
10/17 (火)	横浜技能文化会館 3 階ホール	障害児保育を考えるから保育のユニバーサルデザイン化を目指して～	横浜市子ども青年局	1 名

10/24 (火)	万国橋会議センター	苦情解決の取り組み	神奈川県保育士会	1名
10/31 (火)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	保護者との関係で生じる問題と その対応に必要な知識やスキル	横浜女子短期大学保育センター	1名
11/ 2 (木)	健康福祉総合センター	子どもの疾患と小児救急医療② 防ごう！感染症集団発生	横浜市こども青年局	1名
11/ 7 (火)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	0歳児と保育者の関わり方	横浜女子短期大学保育センター	1名
11/ 8 (水)	横浜市舞岡センター	保育所等職員の健康について	神奈川県保育士会	1名
11/ 9 (木)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	カウンセリングに流れる視点	横浜女子短期大学保育センター	1名
11/14 (月)	神奈川県総合薬事保険センター	保健衛生・安全対策	株式会社ポピンズ	1名
11/14 (火)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	カウンセリングの基本的な知 識と援助モデル	横浜女子短期大学保育センター	1名
11/23 (木)	神奈川県総合薬事保険センター	幼児研修	株式会社ポピンズ	1名
11/28 (火)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	カウンセリング演習Ⅰ(態度・ 傾聴・共感・質問)	横浜女子短期大学保育センター	1名
11/28 (火)	神奈川県総合薬事保険センター	保健衛生・安全対策	株式会社ポピンズ	1名
12/ 5 (火)	神奈川県産業振興センター	乳児保育	株式会社ポピンズ	1名
12/ 6 (火)	神奈川県産業振興センター	子育て支援スキルアップ	横浜市こども青年局	1名
12 /7 (木)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	援助者としての心の使い方	横浜女子短期大学保育センター	1名
12 /8 (金)	神奈川県総合薬事保険センター	幼児研修	株式会社ポピンズ	1名
12/12 (火)	神奈川県産業振興センター	乳児保育	株式会社ポピンズ	1名
12/12 (火)	藤沢商工会議所(ミナパーク)	保育士の育成研修会Ⅱ	横浜女子短期大学保育センター	1名
12/19 (火)	神奈川県産業振興センター	乳児保育	株式会社ポピンズ	1名
12/26 (火)	神奈川県総合薬事保険センター	幼児研修	株式会社ポピンズ	1名
1/18 (木)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	実習/感受性を高める試み	横浜女子短期大学保育センター	1名
1/19 (金)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	栄養基礎知識	横浜女子短期大学保育センター	1名
1/19 (金)	横浜みなとみらい保育園ホール	エビペン講習	みなと赤十字病院	47名
1/21 (日)	国民生活センター	マネジメント	株式会社ポピンズ	1名
1/23 (火)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	カウンセリング演習Ⅱ(焦点 化・明確化・解決に向けての方 向付け)	横浜女子短期大学保育センター	1名
2/ 2(金)	国民生活センター	マネジメント	株式会社ポピンズ	1名
2/ 3 (土)	国民生活センター	マネジメント	株式会社ポピンズ	1名
2/ 5 (月)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	食育計画・提供	横浜女子短期大学保育センター	1名
2/ 5 (月)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	苦情解決の取り組みⅡ	JA さがみ茅ヶ崎支店 5階大会 議室	1名
2/ 6 (火)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	事例検討と振り返り	横浜女子短期大学保育センター	1名
2/ 6 (火)	ヴェルクよこすか	保健衛生・安全対策	株式会社ポピンズ	1名
2/ 8 (木)	白鵬学園 横浜女子短期大学保育センター	人間理解/ 保育者の自己理解を通して子供 や親との関係づくりを学びます	横浜女子短期大学保育センター	1名
2/13 (火)	ヴェルクよこすか	保健衛生・安全対策	株式会社ポピンズ	1名
2/17 (土)	神奈川大学	幼児教育	株式会社ポピンズ	1名

	神奈川大学	幼児教育	株式会社ポピンズ	1名
2/18 (日)	神奈川大学	幼児教育	株式会社ポピンズ	1名
2/18 (日)	神奈川大学	幼児教育	株式会社ポピンズ	1名
2/19 (月)	ヴェルクよこすか	保健衛生・安全対策	株式会社ポピンズ	1名
2/24 (土)	神奈川大学	幼児教育	株式会社ポピンズ	1名
2/25 (土)	神奈川大学	幼児教育	株式会社ポピンズ	1名
3/ 5 (月)	神奈川産業振興センター	乳児教育	株式会社ポピンズ	1名
3/ 8 (木)	神奈川産業振興センター	乳児教育	株式会社ポピンズ	1名
3/14 (水)	神奈川産業振興センター	障害児保育	株式会社ポピンズ	1名
3/13 (火)	神奈川産業振興センター	障害児保育	株式会社ポピンズ	1名
3/16 (金)	神奈川産業振興センター	乳児教育	株式会社ポピンズ	1名
3/19 (月)	神奈川産業振興センター	障害児保育	株式会社ポピンズ	1名

## 平成29年度 玉川保育園 事業報告

定員 135 名 (在籍 134 名)

### 1 施設運営状況

入所状況については、年度途中で転居での退園もありましたが、新たな入所もすぐに決まり安定した施設運営することができました。

地域交流で中丸子南緑道を守る会の方と園児で緑道に花を植えることができ、その活動が川崎市公園緑地協会主催「第13回わがまち花と緑のコンクール」で大賞を受賞し、日本の花の会主催「第27回全国はなのまちづくりコンクール」で奨励賞を緑を守る会の方が受賞しました。

玉川地区わいわいクラブに派遣保育に出て、地域交流を深めることができました。

一時保育事業では地域未就園児を年間1,716名受け入れ、延長保育では20時までの延長保育を行いました。

#### 【年間利用状況】 (各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	71	71	71	71	70	70	69	69	69	69	68	67	835	69
女児	65	66	66	66	66	66	67	67	67	67	67	67	797	66
計	136	137	137	137	136	136	136	136	136	136	135	134	1,632	136

#### 【利用者状況推移】 (各年度3月1日現在)

年 度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
24年度	9	23	25	26	26	26	135
25年度	9	22	25	26	25	26	133
26年度	9	24	26	26	24	26	135
27年度	9	24	25	26	26	24	134
28年度	9	24	25	26	26	25	135
29年度	9	24	25	25	25	26	134

### 2 利用者支援状況

朝7時から夕20時まで13時間の開所時間の中、0歳児の長時間保育・土曜日保育を利用する子どもが増えてきている。延長時間は子どもたちが不安にならないよう、正規職員の他に地域の保育補助の方に子どもたちが淋しくならぬよう家庭的雰囲気の中、お迎えまで過ごせるよう心掛けました。

個別対応が必要な子どもについては専門機関との連携を図り、保護者との信頼関係を築きながら、子どもに対する共通理解を深められました。個別対応児2名はてんかんの疾患があり、今年度は発作が頻繁に起きて救急車を要請することもありました。日々、対応には看護師・保育士が共通の対応ができるようマニュアル作りや園外保育の際の対応など万全の対応を取った。対応はそれぞれが異なりますが、集団の中で他児と一緒に過ごし、個別で対応することができました。

保護者会と連携を取り、保護者会主催行事や園との共催行事も円滑に進行できた。29年度は

バザーの収益金でアンプを購入しました。

看護師の健康指導、栄養士の栄養指導も年間を通して行っているため、子どもたちに定着して来ている。また、保育士と三者連携保育を行い保育の中で子どもたちのために様々なテーマを決め三者で協力しながら三者での連携保育を展開していくことができた。

### 3 職員の状況

職名	平成29年4月1日の職員数				年間退任・就任										平成30年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)							
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算		
		契約職員	非常勤A	非常勤B		就任	退任	契約職員		非常勤A		非常勤B			就任計	退任計	契約職員	非常勤A			非常勤B	常勤換算
								就任	退任	就任	退任	就任	退任									
園長	1				1															1	1	
保育士	22		2	5	29	4	5					3	2	7	7	21		2	6	0.6	29	23.6
看護師	1				1		1								1	1					1	1
栄養士	2				2										2						2	2
調理員	2			2	4										2			2	0.5		4	2.5
事務員	1				1										1						1	1
嘱託医				1	1													1			1	1
計	29	0	2	8	39	4	6	0	0	0	0	3	2	7	8	28	0	2	9	1.1	39	32.1

\*臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

### 4 施設整備状況

- \*地下倉庫除湿器の交換
- \*保育室入り口すのこの整備

### 5 年間行事報告

4月5日	はじめまして集会	10月23日	観劇マジックショー
4月6日	お花見会食	11月2日	保育まつり
4月22日	保育説明会・保護者会総会	11月8日	歯科健診
4月28日	子どもの日集会	11月4日	親子で遊ぼう会
5月13日	懇談会・試食会	11月11日	たんぼぼひろば(育児講座)
5月17日	さつまいもの苗植え	12月6日	お楽しみ週間
5月22日	なかはらっ子シアター	12月8日	観劇ひとみ座
6月7日	歯科健診	12月9日	5歳児懇談会
6月16日	プール開き	12月15日	おもちつき
6月17日	たんぼぼひろば(育児講座)	1月27日	0~4歳児懇談会

7月24日	橘高校学生体験学習	2月2日	平間中学校体験学習
8月25日	お泊り保育	2月3日	節分の会
8月29日	近隣保育園太鼓交流	2月10日	チャイルドフェスティバル
9月2日	ひまわり会バザー	2月23日	玉川小学校内デイサービス交流
8月30日	ミミケロ連続育児講座	2月15日	入園前健診
9月9日	プール納め	2月17日	入園説明会・一時保育説明会
9月12日	すくすく保育園交流	3月5日	玉川小学校を紹介する会
9月20日	玉川中学校体験学習	3月10日	第6回卒園式
9月20日	ゆうらくとの交流	3月23日	お別れ遠足（夢見ヶ崎動物公園）
10月14日	第6回運動会	3月30日	お別れ会・進級式

## 6 健康管理

- 4歳児視聴覚検査の実施
- 除去食・既往症児の予薬の川崎市入所児童健康管理委員会への申請書の見直し。
- 嘱託医による定期健康診断、プール前健診、年2回の歯科健診
- 全職員、年1回健康診断・毎月細菌検査を実施。
- 感染症発生時は保護者にも周知し、玩具の消毒など感染症が拡大しないよう衛生面に留意した。
- 感染症発生時は感染症情報収集システム（サーベイランス）を入力し、川崎市・中原区の保健所と連携をとり感染拡大防止に努めた。

## 7 食事

- 7栄養管理
- \* 1週目食べられなかった食材を翌週は少しでも食べられるように2週間サイクルの献立を実施。
- \* 給食の年間計画に基づき、楽しく食事で健康な体を身につける
- \* 栄養士・調理師による年間を通した食育指や食事の発達と指導ポイントを基に、栄養士・看護師・保育士が連携を取り年間を通した食事指導を行うことができた。
- \* 小麦アレルギー児が入所し、アレルギーフリーの献立作成や米粉を使ったものを取り入れた。
- \* 年間の栄養指導計画の他、献立年間指導計画・食事の発達と指導ポイントを作成し献立作成や年齢ごとの食事量、保育士の指導、配慮など明確にした。

## 8 衛生管理

- 施設の衛生管理についての点検・整備・害虫駆除を行った。

## 9 安全管理

- 防災訓練 毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練の実施
- 園舎・園庭の月1回の安全点検
- 月1回の事故チェックリストでの危険事項の確認・ヒヤリハットの書き出し職員に周知
- 交通安全教室を行なう。
- 水の事故予防の為、プール時監視員の設置



- SIDS予防のため、午睡時タイマーによる午睡チェックの実施
- 個別対応の子どもがいる為、AEDを購入する。

## 1 0 特別保育事業の実施

### <地域活動事業>

- ・地域保育園と年間を通して5歳児が交流（和太鼓交流・ドッチボール交流）
- ・ゆらくの高年齢者との交流。和太鼓演奏や敬老の日・運動会後は園児祖父母、玉川小学デイサービス高年齢者を保育園に招待し園児と交流を深めた。
- ・園庭開放、移動動物園、運動会、観劇等地域の親子を招待し交流を深める。
- ・月1回の地域親子向けの子育てひろばの開催、年2回の育児講座の開催。玉川地区わいわいひろばへの保育士の派遣保育を実施し、地域親子との交流を深める。
- ・11月から2月の期間、地域親子向けに保育園の体験保育を実施
- ・中丸子南緑道を守る会の方と緑道の花植えを年2回行った。

### <一時保育事業>

- ・年間をとして緊急一時・非定利用で延べ人数1,716人の利用があった。
- ・一時的な利用だけではなく、区の児童家庭課から地域親子の見守りが必要な家庭の利用も受け入れをした。

### <障害児保育事業>

- ・3歳児重度、4歳児中度・てんかん、5歳児軽度の受け入れを実施。関係機関、家庭と連携をとりながら個別の指導計画を立て保育を進めていった。

### <家庭的保育事業>

- ・家庭的保育室やまんの連携保育園として、給食の提供・交流保育・合同内科健診・歯科健診・代替保育を行う

### <その他>

実習生・ボランティア・職業体験

- ・短大の受入校（2校）実習実日数（10日）実人員2名
- ・橘高校・玉川中学校・平間中学校の職業体験の受け入れ
- ・橘高校生ボランティア 8名受け入れ

## 1 1 保護者

- ・保護者会会長、役員さんを中心に年間の行事は円滑に行うことができた。  
保護者同士も保護者会の活動を通して子ども同士、家庭同士の輪が広がってきている。

## 1 2 職員・園務

- ・各会議を通して、おおむね年間の行事等計画書通りに行うことができた。
- ・産休・育休に入る保育士が4名おり、職員体制が大変であったが職員みんなで協力した。

## 1 3 平成 2 9 年度研修内容

月日	場所	内容	主催	人数
4月13日	川崎市社会福祉協議会	社会福祉施設等新任職員研修 「新入社員の為のイロハ」	川崎市社会福祉協議会	1名
6月5日	白峰保育センター	3歳児の発達と保育	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名
7月6日	白峰保育センター	カウンセリングの基本的な知識と援助モデル	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名
6月22日	川崎市役所	保育園における食物アレルギー児の対応とエピペンの使い方	川崎市子ども未来局子育て推進部	1名
6月2日	白峰保育センター	新任保育士研修会 保育士になった皆さんへ	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名
7月6日	中原区役所	楽しい会食献立の調理と盛り付けの検討	中原区役所保健福祉センター	1名
8月25日	白峰保育センター	保育素材簡単手作りおもちゃ	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名
9月13日	川崎市役所	子どもに優しい空間と遊びを通した子どもの心のケア	川崎市子ども未来局子育て推進部	1名
10月12日	白峰センター	園における気になる子どもへの対応 ～療育から教育へ～	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1名
11月29日	日本保育協会	主任保育士研修会	日本保育協会	1名
12月13日	中原区役所	子どもの心を育む絆 ～地域で見守る子どもの育ち～	特定非営利活動法人グローイン・グラマ	1名
1月18日	川崎市役所	食育・アレルギー対応	川崎市子ども未来局子育て推進部	1名
2月7日	川崎市役所	連携保育の大切さ「園内・職員間の連携」	川崎市子ども未来局子育て推進部	1名
3月18日	川崎市役所	平成 29 年度保育士試験直前対策講座	ヒューマンアカデミー株式会社	1名

抜粋

## 【園内研修】

- ・救命救急講習
- ・てんかん講座
- ・ダイアアップ
- ・吐物処理
- ・食物アレルギー児の対応
- ・プール水質管理

※保育補助職員が保育士資格を取るために保育士試験直前対策講座を受講

## 平成 29 年度

# 新井小学校放課後キッズクラブ 事業報告

### はじめに

放課後キッズクラブは、小学校の施設を利用し、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供することを目的とした事業です。新井小学校放課後キッズクラブは、保土ヶ谷区が選定し、社会福祉法人長幼会が運営を行っています。平成 27 年度に横浜市との第 I 期委託契約（5 年契約）が終了し、今年度第 II 期（平成 32 年度まで）2 年目としての活動を進めてきました。

慢性的な人手不足、狭い専用室、調理場の整備など環境面に課題もありますが、職員の熱意や学校・地域の一体感が利用者、保護者の方々に理解され信頼されてきたことを実感しています。過去に積み上げた実績を基に職員・保護者・学校・地域が一体となり、青少年健全育成に寄与するよう努めるとともに、運営方針に基づき活動を推進してきました。

### 1 事業の目的

- \*この事業は、子どもたちが通い慣れている新井小学校の施設を利用して、異年齢間の遊びを通じた交流を促進し、児童の創造性、自主性、社会性などを養うことを目的とします。
- \*この事業は、児童福祉法の放課後児童健全育成事業として、保護者が労働等により放課後当該児童が帰宅する時間帯に家庭にいない児童に対し、授業終了後に適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的とする。

### 2 運営理念

社会福祉法人長幼会は 4 か所の保育園と放課後キッズクラブ 1 か所を運営しています。「思いやりのあるたくましい子どもの育成」を保育目標としていますが、保育園の延長線上にキッズを位置づけ、家庭・学校・地域の連携を密に子どもたちの健全育成に貢献していきます。

### 3 運営方針

- \*子どもたちが、元気に楽しい日々を過ごせるようにプログラムの充実を図り、様々な体験を通して自他共に成長しあう場になるよう努めます。
- \*子どもたちの健やかな成長のために、職員の意識・資質の向上を図るとともに、人権の尊重（いじめの撲滅）、プライバシーの保護に努めます。
- \*放課後キッズクラブを「遊びの場」「学びの場」「憩いの場」ととらえ、日々、子どもたちが充実した時間を過ごせるよう努めます。

### 4 活動場所

- ・キッズクラブ教室専用室及び図工室

※その他学校に支障のない範囲で体育館、校庭等を使用しました

### 5 事業の内容

- (1) 児童の健康管理
- (2) 遊びの活動への意欲と態度の育成

- (3) 遊びを通して自主性、社会性、創造性を養う
- (4) 児童の活動状況の把握と家庭との日常的な連絡及び情報交換
- (5) 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
- (6) 保護者との連携による親子参加活動
- (7) 地域の子育て支援に関する活動
- (8) その他、児童の健全育成に関する必要な活動

## 6 利用料

放課後キッズクラブの利用については、次の費用が掛かります。

項目	利用区分 1	利用区分 2
利用料	無料 ※午後 5 時以降も利用する場合は 1 回 800 円	月額 5,000 円 ※利用料の減免制度が適される世帯は月額 2,500 円
障害見舞金制度負担金	児童 1 人につき年額 500 円	
おやつ代	なし ※午後 5 時以降も利用する場合は 1 回 100 円	実費相当額 1 回 100 円
材料費等	実費相当額	

## 7 在籍児童数・登録数・利用率

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
29 年度 在籍数	5 8	5 5	6 5	8 0	7 7	7 1	4 0 6
29 年度 登録数	5 8	5 1	6 0	6 2	4 2	3 9	3 1 2

- (1) 平成 29 年度登録率 76.8 %
- (2) 平均児童利用数 64.9 人
- (3) 利用率 21.0 %
- (4) 延べ利用児童数 1,312 人

## 8 開設時間

授業がある日	授業終了～19:00
授業がない日（土曜日・長期休業日）	8:30～19:00

## 9 月別開設日数（ ）内は土曜日開設日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
25 (5)	27 (4)	26 (4)	25 (5)	26 (4)	24 (4)	297 日 (51 日)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
25 (5)	24 (4)	23 (3)	23 (4)	23 (4)	26 (5)	年間実施日数

## 10 職員構成

### (1) 勤務体制と給与

職種	勤務時間	給与
主任 (常勤) 1名 副主任 (常勤) 1名	1日6時間勤務 週5日勤務 (週30時間) 1日5時間勤務 週5日勤務 (週25時間)	2人で400,000円 賞与なし 交通費実費
非常勤職員16名	平日4時間勤務 週1日～4日 土曜日・休業日 4時間～8時間勤務	1時間950円 10月より1,000円

### (2) 健康管理

- ・健康検査 (胸部レントゲン撮影) 年1回
- ・細菌検査 (検便) 毎月1回

### (3) 企画会議

- ・キッズ運営全般について、企画協議する
- ・参加者：主任・副主任、本部長、本部キッズ担当、千丸台保育園園長
- ・毎月職員会議の前に開催 9：00～12：00

### (4) 職員会議

- ・企画会議で協議した事項の報告を中心に、職員の意見を聴き、共通理解を図る。また、教材の工夫・実技研修を行う。
- ・参加はキッズ全職員及び本部キッズ担当・学校長又は児童選任教諭
- ・教材の研究と発表
- ・毎月第二月曜日 (9：00～12：00)

## 11 主な行事 (プログラム)

月	実施内容 (プログラム)
4	マイクリアファイル作り・キッズ防犯劇場・綿菓子づくり体験・ヘアアレンジ教室・紙芝居・宝探し・キッズシアター
5	防災教室・おりがみホルダー作り・クレープ屋さん・ティッシュカバー作り・手話体験・キッズの果てまで行ってQ・マイハシ作り・お弁当作り・プラバン作り・キッズシアター
6	ミニ黒板作り・テレミン体操・スライム作り・DF科学教室・春の面白運動会・バッジ作り・SDWRリフティング・ビーズストラップ作り・アイロンビーズ・流しそうめん・キッズシアター
7	かみ飛行機遊び・凶工週間・レッツドッジボール・避難訓練・すいか割り・シャボン玉あそび・遠足顔合わせ・キッズシアター

8	虫捕り大会・バス遠足・ケアプラザ訪問・ミサンガ作り・図工週間・キッズシアター・きもだめし・大掃除・くじ引き大会
9	避難訓練・図工週間・紙相撲大会・キッズ縁日・遠足顔合わせ・割りばし鉄砲作り・レッツサッカー・キッズシアター
10	オセロ大会・キッズ秋の運動会・図工週間・紙芝居童話見学会・レッツ大縄・どんぐり集め・ハロウィン衣装作り・キッズシアター・ハロウィンパーティー
11	どんぐりコマ作り・ふれあい遠足・紙トンボ作り・避難訓練・図工週間・キッズシアター・さつまいもほり・レッツバスケット
12	ツリー飾り・遠足顔合わせ・スノードーム作り・キッズシアター・図工週間・キッズサンタ・クリスマス会・バス遠足・レッツバドミントン・大掃除
1	書初め・笑ってはいけない鬼ごっこ・キッズ調査隊・お正月遊び・シュシュづくり・避難訓練・キッズシアター・凧づくり・図工週間・プラバン作り・百人一首あそび・お面作り
2	お面作り・豆まき・静電気実験教室・キッズシアター・チョコ作り・レッツバレーボール・図工週間・アイロンビーズ・将棋大会
3	避難訓練・レッツキックベース・キッズシアター・駅伝見学・図工週間・ぬりえコンテスト・卒業遠足・映画観賞会・新入生プレゼント作り・クリーンアップ

## 1 2 保護者関係

保護者会規約に沿って年2回開催し、感想、要望等、意見交換をするなかで活動に反映するとともに、内容については、保護者会開催報告書を作成し、区子ども家庭支援課へ提出してきました。

## 1 3 学校との連携

- ・授業参観へのキッズ職員の参加と教職員のキッズ行事への参加
- ・情報交換のため、キッズ職員会議への学校長又は児童選教職員の参加
- ・キッズ主任と副校長による日常の連絡、報告を密に行う

## 1 4 地域関係

- ・地域育成者交流会（地域主催）への出席（4月・12月 キッズ職員、法人）

- ・評議員会を新井小学校放課後キッズクラブ評議員会規約に沿って年 2 回開催してきました。

## 1 5 防災対策・防犯対策

### <避難訓練等>

- ・火災避難訓練
- ・地震避難訓練
- ・防犯訓練
- ・下校訓練

### <その他>

- ・AED 講習（職員上級救命講習）
- ・定期的な下校指導

## 1 6 広報関係

- ・日常の活動をビデオ等で撮影し、保護者会等で視聴し活動内容の理解を深めました。
- ・毎月キッズ便りを発行し、キッズクラブの情報を保護者や地域の方にお伝えしました。

## 1 7 その他

- ・校外活動として 8 月にバス遠足（しながわ水族館、上野国立科学博物館）、10 月に川崎グランドボウル（ボウリング）に行きました。
- ・17 時 00 分以降の手作りおやつを提供を金曜日にし、クラブ活動を開始しました。  
【月曜日：自由】【火曜日：そろばん】【水曜日：遊び】【木曜日：そろばん】【金曜日：習字】
- ・がやっこ学び育み事業（キッズアカデミー）毎週水曜日に開催し、2 年生から 6 年生までが参加しています。講師は、講師 1 名、ボランティア 1 名で対応しています。
- ・検便を全職員対象としました。
- ・新井中学校生徒の夏季休業中のボランティア活動の受入れを行い、2 年生 1 名がキッズクラブのボランティア登録を行い、週 2 日活動しました。
- ・夏季休業中に白山高校生徒のボランティアを受け入れました。
- ・地域の活動として、駅伝大会やお祭りに参加するとともに、近隣の愛護会の方にキッズクラブのイベントに参加して頂きました。
- ・4 名の職員が退職し、3 名の職員を新たに雇用しました。